

メッセージ



大和市 佐藤 正紀議員

県中央地域連合はじめ、すべての働く人々の権利を守っている皆様に敬意を表します。広島と長崎に原爆が投下されて75年が経ちました。罪なき多くの人々の命を奪い、今なお多くの方々を後遺症で苦しませている、その元凶である核兵器の削減がなかなか進まないことに、私も強い憤りを感じております。

新型コロナウイルスのまん延は、国際社会において、グローバル化がますます進んでいる事を我々に強く意識させました。ウイルスは決して忖度しません。自国第一主義では、ウイルスの侵入を防ぐことは出来ないことが証明されました。国際

社会が手を結び、ワクチンの開発などで各国が協力をすべきではないでしょうか？

私は市議会議員になって10年目ですが、そのうち9年、大和市平和都市推進実行委員会の一員として活動しております。今年はコロナの影響で、多くの行事が中止に追い込まれてしまいました。しかし先日、私の所属するパネル部会では、原爆の子の像のモデルの佐々木貞子さんに関するパネル展を開催する方向で、話し合いが行われました。

我々一人ひとりの力は微力かもしれませんが、決して無力ではありません。力を合わせて平和な社会を築いてまいりましょう。

大和市議会議員  
佐藤 正紀